

令和 8 年度伊那市地域ブランドエコシステムプロジェクト業務委託
評価審査基準

1 評価方法

本公募の業者選定方法は、提案内における評価対象とする総合評価方式とします。評価審査基準については、以下を参考としてください。

※書類による一次選考がある場合は、提出された提案書と見積書をもとに、本評価基準に沿って採点を行う予定です。

2 配点

1,250 点満点（各審査員は 250 点保持し、5 人で合計 1,250 点）とします。

5 人の審査員は後述の評価配点により評価を行います。審査員は各項目の配点を上限として調達仕様書に記載されている内容の実現度等をもとに採点します。

3 提案内容の評価点配点項目（ $250 \times 5 = 1,250$ 点満点）

各項目の配点を上限として、審査員ごとに評価を行い、合算します。

4 判定方法

前述の評価点の合計点数が一番高い事業者を、第一優先交渉先とします。1 位の事業者が同点で複数となった場合は、審査会で協議の上、第一優先交渉先を決定します。

項目	配点
1 本事業に対する理解 (20)	
伊那市の地域特性を理解した提案になっているか	5
総合計画が掲げる将来像やひとづくりの視点、本事業の目的や背景を理解し、実現可能な提案となっているか	5
伊那に住む人々の暮らしをどのようにしたいか	5
「森といきる 伊那市」の概念、4つの基本アクション、ブランドパーパス「森のような思考」を深く理解した提案か	5
2 事業内容（事業目的の達成が可能な提案となっているか）(150)	
将来的な自立運用に向けた3か年ロードマップ（全体構想）の構築	10
推進体制（プラットフォーム） 行政・地域人材・事業者が連携する実務型体制及び現場で活用しやすいロゴ運用方針などが明確か	15
魅力創出・情報発信（伝わる・つながる） Web運用、市民参加型冊子、共創ストーリー発信等、市民主役の発信スキームがあるか	15
地域価値の評価・認定制度（伊那らしい価値を生む） 制度の仕組みや専門的なデータ・知見を踏まえた基準等が整っており、商品の外販や企業の販路拡大を効果的に支える計画になっているか	20
共創プログラム（学ぶ・ひろがる） 全国アイデア公募・伴走支援、課題解決型WS、指定再委託（上伊那森林組合）の実践現場連携・PR策が具体的か	20
対話をつなぐ場づくり（知る・はじめる） 学校・企業等との「森のような思考」対話プログラムや日常の体感の仕掛けが効果的か	15
人材育成・インナーブランディング（変わる・育む） 中高生・大学生の探究学習・実習の場づくり、若者交流、庁内職員研修や業務還元スキームが優れているか	15
現場での広報・交流・体験 指定再委託先の実践現場を活用した広報（PR）・交流・体験プログラム等の企画が魅力的で、市民参画や関係人口創出に資する内容か	10
事業効果の測定と検証 成果や経済効果を客観的な数値で把握・検証する仕組み（EBPM）をはじめ、指標の設定、データ収集・分析方法、結果の公表手順が明確に構築されているか	15
施策連携・自走化 地域未来交付金他事業の中心的役割（ハブ機能）、および3か年での自走化（役割移行・自主財源モデル）ロードマップが実現可能か	15
3 業務推進体制・遵守事項 (30)	
サーバントリーダー的視点による地域人材等の活用および連携	15
上伊那森林組合（指定再委託）をはじめとする既存地域団体等との円滑な連携体制・役割分担が示されているか	10
週1回程度の打合せやアジャイル思考による機動的な進捗管理・報告体制が整っているか	5
4 事業推進に関わる実績 (30)	
本プロジェクト遂行に役立つと思われる他自治体等における地域ブランディング及びエコシステム構築等の類似案件の取組実績を有しているか（グローバル、ローカルなど）	20
地域伴走支援、人材育成、データ活用・効果測定に関する類似案件の実績を有しているか	10
5 任意提案（自主事業） (10)	
市負担枠外での地場産業連携、関係人口・UIターン拡大、民間投資誘発等に資する効果的な独自提案がされているか	10
6 プレゼンテーション等 (10)	
提案内容が明瞭かつ説得力があり、本事業に対する熱意・課題解決姿勢のある真摯な提案がされているか	10